水道水ができるまで

越谷・松伏水道企業団の水は、江戸川の水を水源とする埼玉県の浄水場（約90パーセント）と、地下水を水源とする水道企業団の浄水場（約10パーセント）で作られています。

越谷市と松伏町の皆さんの1人が1日に使う水道水は、およそ280リットルです。

これは、2リットルのペットボトルにすると140本分になります。

越谷・松伏水道企業団 PRキャラクター こしまつくん

ダムの水は利根川、江戸川を流れ、浄水場で水道の水になるんだね。

武蔵水路

利根川

荒川へ

北部配水場（平成22年通水）

県から送られる水道水

企業団が送っている水道水

越谷市

松伏町

江戸川

築比地浄水場（昭和49年通水）

こしがや・まつぶしすいどうきぎょうだんちょうしゃ
越谷・松伏水道企業団庁舎

24時間体制で浄・配水場を監視・コントロールしています。

西部配水場（平成7年通水）

南部浄水場（昭和41年通水）

東部配水場（昭和56年通水）

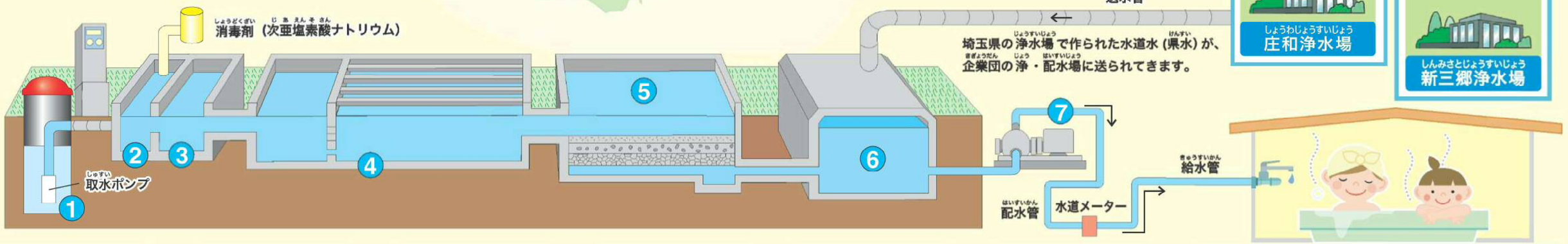
埼玉県新三郷浄水場

送水管

埼玉県の浄水場で作られた水道水（県水）が、企業団の浄・配水場に送られてきます。

しょうわじょうすいじょう
庄和浄水場

しんみさとじょうすいじょう
新三郷浄水場



1 深井戸

浄水場のまわりに掘られた深さ250～400mの井戸から地下水を取水ポンプでくみ上げます。

2 着水井

地下水を取り入れます。ここで消毒剤（次亜塩素酸ナトリウム）を入れます。

3 混和池

地下水と消毒剤をよく混ぜて、滅菌します。

4 沈でん池

地下水に含まれる砂や土などを取り除きます。

5 ろ過池

水に含まれている鉄分等を砂の層をくぐらせて取り除きます。

6 配水池

いつでも水が送れるように、きれいになった水をためておきます。

7 配水ポンプ

配水池にためた水を配水ポンプで圧力をかけて各家庭に送ります。

水質検査

水道水が安全かどうか調べます。